

## ずいひつ No.126

2017年5月25日発行

5～6月が見頃 かきつばた 杜若

杜若という花を見たことがありますか？

杜若は、古くはかきつばたと呼ばれた、アヤメ科の多年草です。高さ約 70 センチメートルで初夏に濃青色・白色・斑入りなどの花を咲かせます。

参照：辞典・百科事典の検索サービス - Weblia 辞書



杜若は愛知県の県花、知立市の市花に指定されています。これは『伊勢物語』で在原業平が愛知県知立市にある無量寿寺を訪れた際、以下の和歌を詠んだことに由来します。【かきつばた】の5文字を句のはじまりの文字に置き、旅について詠んだとされています。

(か) (き) (つ)  
『から衣 きつつなれにし 妻しあれば  
(は) (た)  
はるばる来ぬる 旅をしぞ思ふ』



無量寿寺は古くから杜若の景勝地として有名で、今でも無量寿寺の庭園である八橋かきつばた園では毎年たくさんの杜若が咲きます。実際にゴールデンウィークを利用して、かきつばた園に行ってみました。以下の写真は、5月3日の様子です。



ほとんど咲いていませんでした。しかし、わずかに咲いている杜若を目当てに、お酒を飲んでいる人やカメラを首から提げて散策している人、買い物帰りにちょっと寄ってみた人などで賑わっていました。ボランティアの方に、「杜若の花言葉は『幸せは必ずやって来る』とされていることから、無量寿寺を訪れるといいことがある、写真載せるなら、一緒にしっかり宣伝しておいてね！」と宣伝を交えつつ、教えていただきました。皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね。



(雨女な司書2年生 M)